

水道管凍結防止対策について

冬は気温低下による凍結から水道管を守りましょう。

寒さが厳しくなると水道管の水が凍って出なくなったり、水道管が破裂することがあります。水道管の水の凍結を防ぐには保温が一番です。早めの凍結防止の準備をお願いします。

水道管等が破損すると、修理代の他、漏水した分の水道料金がかかります。

特に凍りやすい水道管

- ・屋外に露出されている水道管
- ・家の北側などで、日の当たらない場所の水道管
- ・風当たりの強い場所の水道管
- ・給湯器まわりの水道管

凍結防止対策

- ・露出している水道管や蛇口に、保温材や布などを巻き、その外側をビニール袋等で防水し、テープや紐等で固定する。
- ・メータボックスの中には、ビニール袋に入れた布や新聞紙等を詰める。ただし、水道メーターの検針ができるようお願いします。
- ・急な冷え込みが予想される時は太陽熱温水器や湯沸器などは、就寝前に水抜せんで水を抜いておく。
- ・蛇口を少しあけて、糸を引く程度の水を流す。この場合、水道料金がかかりますので、お風呂などに貯めて有効にお使いいただくことをお奨めします。

水道管が凍ってしまったら

- ・自然に溶けるまで待つ。
- ・蛇口をあけて、凍結している場所にタオルや布などをかぶせ、その上からゆっくりと「ぬるま湯」をかけてください。

※熱湯を急かけると、水道管や蛇口が破裂することがありますのでご注意ください。

※鉄製の水道管をお使いの場合は、凍った水道管がとける際に内面の鉄さびがはがれて水が赤くなる場合があります。これは一時的なものですので、しばらく水を出してからご使用ください。

水道管等が破裂してしまったら

- ・早急に水道メーターのそばにある止水栓（元栓）を閉めてください。
- ・民地部分の水道管は、お客様の管理となりますので、お客様が直接、水道工事店（指定給水装置工事事業者名簿）へ修理を依頼してください。修理は有料となります。